

平成19年度

終末期医療に関する調査

—いのちを支える医療を目指して—

【ご記入に際してのお願い】

- 1) 宛名の方ご本人がお答えください。
- 2) ご記入は質問の番号にそってお願いします。
- 3) 一部の方だけにお答えいただく質問もございますが、その場合は【…の方に】といった指示があります。
- 4) お答えはあてはまる番号に○印をつけてください。
- 5) 「その他」に○をつけられた場合には、()内に具体的にご記入ください。
- 6) ご記入は鉛筆または、黒・青のペン、ボールペンでお願いします。
- 7) 記入上おわかりにならない点などがありましたら、下記の新情報センターまでお問い合わせください。

【ご返送締切日】

ご記入いただきました調査票は、3月24日(月)までに返送用封筒にてご投函くださいますようお願いいたします。

平成20年3月

調査主体 厚生労働省 医政局総務課

調査実施 社団法人 新情報センター
東京都渋谷区恵比寿1-13-6

電話 03-3473-5231

担当 高崎・利光

<終末期医療への関心等についてお尋ねいたします>

問1 近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 非常に関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 少し関心がある | 4 ほとんど（全く）関心がない |

補問 （問1で1か2をお選びの方に）あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 よく知っている | 3 あまり知らない |
| 2 詳しくはないが、少し知っている | 4 ほとんど（全く）知らない |

（全員の方に）

問2 あなたご自身が治る見込みがない病気になった場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|---------------|
| 1 知りたい | →（問3へお進みください） |
| 2 知りたくない | |
| 3 わからない | |

補問 （問2で1をお選びの方に）この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けたいと思いませんか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|---|
| 1 直接受けたい |) |
| 2 家族に聞いてもらい、家族から話を聞く | |
| 3 その他（具体的に | |

<あなたの死が間近に迫っている場合を想定してお尋ねします>

（全員の方に）

問3 あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている（数日程度あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、心肺蘇生措置を望みますか。（○は1つ）

※ ここでいう心肺蘇生措置とは、

死が迫った時に行われる以下の行為を指すものとします。「心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為」

- | |
|----------------------|
| 1 心肺蘇生措置を望む |
| 2 どちらかという心臓蘇生措置は望まない |
| 3 心肺蘇生措置は望まない |
| 4 わからない |

問4 あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（○は1つ）

1 延命医療を望む	→	(問5-1へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない		
3 延命医療は望まない		
4 わからない	→	(問5-1へお進みください)

補問1 (問4で2か3をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

※ ここでいう胃ろうとは、人工的に胃壁に作られた穴（ろう孔）を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう（※）や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

補問2 (問4で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法	→	(問5-1へお進みください)
2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法		
3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法	→	(補問3へお進みください)
4 わからない		
	→	(問5-1へお進みください)

補問3 (補問2で3をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要となるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。
(○はいくつでも)

- 1 医学的にみて患者が不治の病に冒され、しかもその死が目前に迫っていること
- 2 患者の痛みが甚だしく、誰もがこれを見るに忍びないほどであること
- 3 患者の痛みからの解放を目的とした治療が十分なされていること
- 4 患者本人の強い要請があること
- 5 方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること
- 6 医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること
- 7 医師の手によることを原則とし、これができない場合は世間が納得できるだけの特別な事情があること
- 8 方法が常識的にも妥当なものとして認め得るものであること
- 9 その他 ()
- 10 わからない

(全員の方に)

問5-1 あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。(○は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 5 自宅で最期まで療養したい
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 7 老人ホームに入所したい
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問5-2 あなたは自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 実現可能である → (問6へお進みください)
- 2 実現困難である → (補問へお進みください)
- 3 わからない → (問6へお進みください)

補問 (問5-2で2をお選びの方へ) 実現困難であるとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がいない
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていない
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護してくれる家族がいない
- 6 介護してくれる家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他(具体的に)

<あなたの家族に死期が迫っている場合を想定してお尋ねいたします>

(全員の方に)

問6 では、あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

- 1 延命医療を望む → (問7-1へお進みください)
- 2 どちらかという延命医療は望まない
- 3 延命医療は望まない
- 4 わからない → (問7-1へお進みください)

補問1 (問6で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

補問2 (問6で2か3をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 2 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせるような方法
- 3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
- 4 わからない

(全員の方に)

問7-1 あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこを薦めますか。(〇は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(今、入っている)医療機関へ入院させたい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)へ入院させたい
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関へ入院させたい
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟へ入院させたい
- 5 自宅で最期まで療養させたい
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的な治療をさせたい
- 7 老人ホームへ入所させたい
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問7-2 あなたの家族は自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 実現可能である → (問8へお進みください)
- 2 実現困難である
- 3 わからない → (問8へお進みください)

補問 (問7-2で2をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がない
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていない
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護する家族がない
- 6 介護する家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他(具体的に)

<あなたが^{せんえんせい}遷延性意識障害になった場合を想定してお尋ねします>

(全員の方に)

問8 あなたご自身が、^{せんえんせい}遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。
(○は1つ)

※ ここでいう「^{せんえんせい}遷延性意識障害」とは、

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

1 延命医療を望む	→ (問9へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない	
3 延命医療は望まない	
4 わからない	→ (問9へお進みください)

補問1 (問8で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問2 (問8で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

<あなたの家族が遷延性意識障害になった場合についてお聞きします>

(全員の方に)

問9 では、あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

※ ここでいう「遷延性意識障害」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

1 延命医療を望む	→ (問10へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない	
3 延命医療は望まない	
4 わからない	→ (問10へお進みください)

補問1 (問9で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問2 (問9で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

<あなたが脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問 10 あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

1 延命医療を望む	→	(問 11 へお進みください)
2 どちらかという延命医療は望まない		
3 延命医療は望まない		
4 わからない	→	(問 11 へお進みください)

補問 1 (問 10 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
3 わからない

補問 2 (問 10 で 2 か 3 をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
4 わからない

(全員の方に)

問 11 あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。(○は1つ)

1 自宅	→	(補問 1 へお進みください)
2 病院		
3 老人ホーム	→	(補問 2 へお進みください)
4 その他(具体的に)		
5 わからない	→	(問 12 へお進みください)

補問1 (問11で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごしたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えたいので
- 5 病院では自分の望むように最期を迎えられないので
- 6 家族や知人が自宅で最期を迎えていたので
- 7 その他 (具体的に)

補問2 (問11で2, 3, 4をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 自宅では訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族が希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

<あなたの家族が脳血管障害等によって全身状態が悪化した場合についてお尋ねします>

(全員の方に)

問12 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

- 1 延命医療を望む → (問13へお進みください)
- 2 どちらかという延命医療は望まない
- 3 延命医療は望まない
- 4 わからない → (問13へお進みください)

補問1 (問12で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

補問2 (問12で2か3をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

※ ここでいう胃ろうとは、

人工的に胃壁に作られた穴(ろう孔)を指すものとします。食物摂取が困難な際にこの穴を介し、胃に栄養分を注入します。

- 1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療まで中止
- 2 胃ろう(※)や中心静脈栄養などによる栄養補給まで中止
- 3 点滴等の水分補給など、一切の治療を中止してほしい
- 4 わからない

(全員の方に)

問13 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)

1 自宅	
2 病院	→ (補問2へお進みください)
3 老人ホーム	
4 その他(具体的に)	
5 わからない(問14-1へお進みください)	

補問1 (問13で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えさせたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごさせたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えさせたいので
- 5 病院では本人の望むように最期を迎えられないので
- 6 他の家族や知人が自宅で最期を迎えていたので
- 7 その他(具体的に)

補問2 (問13で2, 3, 4をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 自宅では、緊急時に家族が大変になるかもしれないから
- 8 自宅での療養について、家族として希望しないから
- 9 それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 わからない

＜生前の意思決定についてお尋ねいたします＞

(全員の方に)

問 14-1 「治る見込みがなく、死期が近いときには延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル) という考え方について、あなたはどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

<p>1 賛成する</p> <p>2 患者の意思の尊重という考え方には賛成するが、書面にまでする必要がない</p> <p>3 賛成できない</p> <p>4 その他(具体的に)</p> <p>5 わからない</p>	<p>→ (問 14-2 へお進みください)</p>
--	----------------------------

補問 1 (問 14-1 で 1 をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えになりますか。(○は1つ)

<p>1 そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである</p> <p>2 法律を制定しなくても、医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定する</p> <p>3 その他(具体的に)</p> <p>4 わからない</p>
--

補問 2 (問 14-1 で 1 をお選びの方に) 死期が近い時の治療方針についての意思について、入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホームなど)等から、書面により患者の意思を尋ねるという考え方についてどのように思いますか。

(○は1つ)

<p>1 賛成する</p> <p>2 反対である</p> <p>3 わからない</p>

補問 3 (問 14-1 で 1 をお選びの方に) 書面に残すとしたら、どの時期が良いと思いますか。

(○は1つ)

<p>1 入院(入所)する以前に書面として残したほうが良い</p> <p>2 入院(入所)時に書面として残したほうが良い</p> <p>3 入院(入所)後のある時期に書面として残したほうが良い</p> <p>4 時期は、いつでもかまわない</p> <p>5 わからない</p>
--

(全員の方に)

問 14-2 このような書面を見せれば、医師はその内容を尊重してくれると思いますか。(〇は1つ)

- 1 そう思う
- 2 そうせざるを得ないと思う
- 3 そうは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他 (具体的に)
- 6 わからない

問 14-3 あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 何度でも容易に書き直すことが可能なことは知っている
- 2 1度書いた書面を書き直すことは、重大な理由が必要であると思っていた
- 3 1度書いたら、書き直しは不可能であると思っていた
- 4 その他 (具体的に)

問 14-4 事前に本人の意思の確認ができなかった患者の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(書面ではなく代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

- 1 それでよいと思う
- 2 そうせざるを得ないと思う
- 3 そうは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他 (具体的に)
- 6 わからない

問 14-5 では、あなたは、自分が終末期に明確な意思表示を行うことが困難と思われる場合、事前に治療方針に関する判断をあなた以外の方に任せておくことは可能ですか。

- 1 事前に任せておくことは可能である
- 2 事前に任せておくことは不可能である
- 3 わからない
- 4 その他 (具体的に)

問 14-6 あなたは、自分が終末期に明確な意思表示が示せない場合、治療方針の決定についてどのようにしてほしいですか。(〇は1つ)

- 1 配偶者など最も身近な人の意見に従ってほしい
- 2 家族や親戚など多数の意見に従ってほしい
- 3 担当する医療・ケアチームが慎重に考えて決めてほしい
- 4 わからない

<その他の質問>

問 15 あなたは、自分自身の延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、ご家族で話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

- 1 十分に話し合っている
- 2 話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問 16 延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間に十分な話し合いが行われていると思われますか。(〇は1つ)

- 1 十分に行われていると思う
- 2 行われているが不十分であると思う
- 3 行われているとは思わない
- 4 その時の状況による
- 5 その他 (具体的に)
- 6 わからない

問 17 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。(〇は1つ)

- 1 自分の病気を治すことができるよう、可能な限りの医療を受けたい
- 2 病気を持ちながらも自分の生活を優先させることができるよう生活を支えてくれる医療を受けたい
- 3 その他 (具体的に)
- 4 わからない

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについて、もう少しお伺いします。

〔性別〕

1 男性	2 女性
------	------

〔年齢〕

1 20～24歳	7 50～54歳
2 25～29歳	8 55～59歳
3 30～34歳	9 60～64歳
4 35～39歳	10 65～69歳
5 40～44歳	11 70歳以上
6 45～49歳	

〔学歴〕 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。(中退、在学中も卒業とみなします)

1 中学(小・高小含む)	3 大学(旧高・高専含む)
2 高校(旧中含む)	4 不明

〔職業〕 あなたのご職業は何ですか。

1 自営業	3 無職(学生、専業主婦を含む)
2 勤め(パート、アルバイトを含む)	

〔入院〕 あなたやご家族の方で、最近5年間に病気やけがで入院したことがある方はいらっしゃいますか。次の中からお選びください。(○は1つ)

1 自分が入院した	4 その他(具体的に)
2 家族が入院した	5 わからない
3 自分、家族ともに入院した	6 入院したものはいない

〔死別の経験〕 あなたは、最近5年間に身近な大切な人の死を経験されましたか。(○はいくつでも)

1 家族を亡くした	3 友人を亡くした
2 親戚を亡くした	4 経験をしていない

ご協力ありがとうございました。